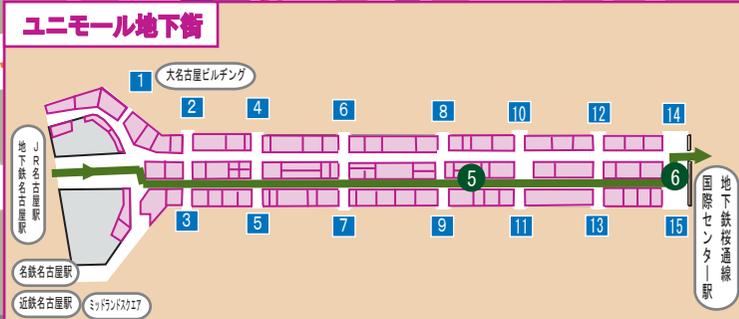


- ★ 名チャリ貸出場所
- ☆ おすすめコース
- 🚌 名古屋観光ルートバス
メーグル停留所
- 📍 観光案内所

0m 100m
平成22年9月1日現在



ユニモール地下街

名駅地区の地下街は、八つのエリアからなり、名駅から国際センター駅を結ぶ地下街がユニモールです。ユニモールは昭和四五年に誕生。当時、車社会の到来により、駅前周辺に駐車場が必要とされまははじめとされた昭和30年代の駅前開発ラッシュにより土地がありませんでした。そこで、桜通の地下に、名古屋初の大型駐車場がつくられました。その上にユニモールができました。



1 ナナちゃん人形

名鉄百貨店ヤング館の前に立つ巨大マネキン。昭和四十八年、ヤング館の旧称「セーレン館」の一周年を記念して設置されました。季節によって様々な服や水着に着替え、人々の目を楽しませていました。名古屋駅の待ち合わせ場所としても有名です。



2 名鉄バスセンター

昭和四十二年に開業。当時、その規模から「東洋一」と称されていました。現在は、高速バスや九州などを走行する名古屋独自の運行形態である基幹バスの発着点となっています。



3 名鉄・近鉄名古屋駅

近鉄名古屋駅（当時関急名古屋駅）は、昭和十三年に開業、名鉄名古屋駅当時新名古屋駅は、昭和十六年に開業されました。二つの駅間に連絡線が敷設され、両社の直通運転が行われた時代もありました。



4 大名古屋ビルディング

昭和四十年の竣工。地下一階の商店街は「ダイナード」と名付けられ、地下街とも結ばれています。屋上の球形型ネオンサインは名古屋の象徴の一つでした。平成二十七年には超高層ビルに建て替わる予定です。



5 タオル専門店「タミー」

ユニモールオープン当初から続く店。タオル、エプロン、キャラクターグッズなどを販売しています。地下構造ならではのデッドスペースを活かした、奥行き50cm程度の路面店で

<営業時間>
10:00 ~ 20:30



6 マリンプラザ

「なぜ地下街に水槽が？」と思うかもしれませんが。水槽には、サメやクマノミ、熱帯魚など悠々と泳いでいます。自由に見学できるため、地元の幼稚園のお散歩コースにもなっています。ちよとした水族館気分を味わってみては？



7 名古屋国際センター

昭和五十九年、地域の国際化推進を目的に設置されたビル。国際交流の場として、講演会や講座、展示を通して世界各地の暮らし・文化を紹介している他、外国人と日本人の交流のための催し等が開催されています。



昭和の風情をめぐる ～地下街発祥の地、名駅～

名駅地下街は、地下鉄東山線開通に合わせて、昭和三十二年にオープンしました。当時は現在の「サンロード」の部分しかありませんでしたが、店舗の規模は日本で、東京・大阪からも多くの人が視察に訪れました。その後、大名古屋ビルディングの地下と地下街が一体となった「ダイナード」（昭和三十八年）、地下駐車場一体型の「ユニモール」、「エスカ」（昭和四十五年）をはじめとした地下街がつくられ、現在の大規模地下街になりました。

時代の変化と共に、名駅地下街は拡大していったのです。「名駅」という愛称で親しまれているこのエリアをご覧ください。

<おすすめコース>

- ★ ① ナナちゃん人形 徒歩 5分
- ③ 近鉄・名鉄名古屋駅前 徒歩 3分
- ユニモール入口 (地下鉄東山線 8 番出口) 徒歩 10分
- ⑥ マリンプラザ 徒歩 3分
- ★ 国際センター駅 2 番出口

距離：約1.0km 所要時間：約20分